

■ = データ連携基盤等

□ = 生産 □ = 利用

■ = 変換・貯蔵・輸送

= 熱

= 電気

= 炭素

= データ
(本事業の対象データ)= 脱炭素燃料
(水素・アンモニア・e-fuel)

= 化石燃料

将来的な社会イメージ

運用結果を
検証計算結果を
運用に活用

デジタルツイン

熱のEMSプラットフォームに集約されたデータを基に、
デジタル空間上でシミュレーションや解析を行うシステム

熱のEMS
空調機器やヒートポンプ等の熱供給機器から
エネルギー情報を収集し、最適利用を
計画・制御するためのシステム
※FEMS:Factory EMS / BEMS:Building EMS /
HEMS:Home EMS



主な提供サービス

熱のEMSプラットフォームと効果検証サービス → 効果 機器や冷媒等の資源循環を実現しつつ、熱の最適利用によりCO₂排出量を削減

熱のEMSプラットフォーム

サービス概要

- 熱利用機器やセンサーからデータを集積するとともに
デジタルツインを活用してエネマネの効果検証や最適化を行う仕組み

サービス提供者 サービス利用者

- ・非営利団体
- ・EMSメーカー
- ・設備所有者
- ・機器メーカー

活用技術

- ・デジタルツインを含む熱エネルギーEMS



デジタルツインを活用する先進エネルギー・マネジメントシステム

サービス概要

- ・先進EMSにより1ランク上の省エネを実現するシステム

サービス提供者 サービス利用者

- ・EMSメーカー
- ・機器メーカー
- ・設備所有者(住宅、ビル、工場、テナント、公的施設)

活用技術

- ・デジタルツインを含む熱エネルギーEMS

効果の予測・
検証／最適制御

ヒートポンプ機器のEMS対応度のラベリング機能

サービス概要

- ・ヒートポンプ機器のEMS対応度を
4~5段階でランク付けするシステム

サービス提供者 サービス利用者

- ・国
- ・国

活用技術

- ・EMSによるヒートポンプ機器の制御

